

1350

空間設計II

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

牧野良三教授、谷浩二講師、富谷智講師、杉本孝夫講師

授業の概要と目標

[光と空間の演出効果]

空間を語る上で欠くことの出来ないエレメントのひとつである光は、効果的な演出により空間に表情を与える。空間の構造や機能と光の密接な関係を探りながら、光の特性を効果的に用いることで生まれる新しい空間の在り方を考察する。

公共空間（商業施設、文化施設など）に於ける光の演出や、劇場空間での光の効果などを参考に、光と影を活用した空間の演出プランとその方法も探る。

課題の概要

○面接授業課題 [光と空間の造形]

光の特性と演出効果を用いた照明の基本実習。

演出テーマに向けた照明計画とその表現方法の確立。

○通信授業課題 [光と空間の演出効果]

光と空間の造形をまとめ、新たに設定されるコンセプトによる照明計画とその展開をまとめる。

*課題については学習指導書『空間設計I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

面接授業



通信授業

[面接授業]

第1日 前提講義、課題説明

第2日 テーマ設定1、照明実験

第3日 基本実習

第4日 テーマ設定2、照明実験

第5日 基本実習

第6日 基本実習、講評

[通信授業]

面接授業の光と空間の造形をまとめて、分析する。写真、図表、図面、見取図等によるレポートとして提出。

成績評価の方法

通信授業と面接授業を総合的に評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] スペースデザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049の特例を除く）。

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース4年次必修科目。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

寺原芳彦 監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『空間設計I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）